EA21
環境経営レポート

第 17 版

令和4年(2023年)1月

取 組 期 間
【令和3年度:令和3年(2021年)8月～令和4年(2022年)7月】

天栄工業株式会社

環 境 方 針

環 境 理 念

環境に配慮した事業活動を通じて、環境と調和し、且つ、持続的に発展する社会の実現に貢献します。

環 境 経 営 方 針

私たち、天栄工業株式会社及び株式会社天草・リサイクルセンターは、廃棄物処理業、廃棄物収集運搬業において、以下の方針のもと、環境改善及び保全活動を推進します。

① 環境目標を設定し、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

② 事業活動にかかわる環境側面を常に認識し、温室効果ガスの削減などの環境保全活動を行います。

③ 廃棄物の発生の抑制と廃棄物の資源化を目指して、リサイクル事業に従事します。

④ 事業活動にかかわる法規制及びその他協定等については、これを遵守します。

⑤ 教育活動を通じて、この環境方針を全社員に周知徹底するとともに、一般の人にも公開します。

⑥ 水資源は山水を使用しており、水質を悪化しないよう留意します。

⑦ グリーン購入を推進します。

平成18年6月26日策定
令和2年3月29日最終改定
天栄工業株式会社、株式会社天草・リサイクルセンター
代表取締役　松本　仁

会 社 概 要

1)会社概要

事業所名	天栄工業 株式会社	株式会社 天草・リサイクルセンター
代表者	代表取締役 松本 仁	代表取締役 松本 仁
所在地	熊本県上天草市松島町今泉4289	熊本県上天草市松島町今泉4289－1
設立年月日	昭和47年11月10日	平成17年4月1日
資本金	20,000千円	10,000千円
事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで	毎年4月1日から翌年3月31日まで

備考)天栄工業及び天草・リサイクルセンターは、同一敷地内に施設を有しており、事務所等は一体で使用しているため、環境への取り組みは一緒に実施する。

2)事業の規模

事業所名		天栄工業 株式会社	株式会社 天草・リサイクルセンター
売上高	平成29年度	144,613 千円	39,549 千円
	平成30年度	130,823 千円	43,352 千円
	平成31年度(令和元年)	106,983 千円	52,905 千円
	令和2年度	175,313 千円	54,104 千円
	令和3年度	143,972 千円	54,700 千円
産廃収運量	平成29年度	4,769 t	―
	平成30年度	4,970 t	―
	平成31年度(令和元年)	3,310 t	―
	令和2年度	5,284 t	―
	令和3年度	4,086 t	
産廃受入量	平成29年度	10,914 t	1,117 t
	平成30年度	9,230 t	2,667 t
	平成31年度(令和元年)	7,357 t	1,792 t
	令和2年度	8,516 t	3,456 t
	令和3年度	11,202 t	2,404 t
従業員数		13名(2022年8月1日現在)	11名(2022年8月1日現在)
車両台数		12台(内営業車2台)	―
敷地面積		6,161.51m2	

3)事業の内容

天栄工業 株式会社	株式会社 天草・リサイクルセンター
産業廃棄物処分業	産業廃棄物処分業
産業廃棄物収集運搬業	一般廃棄物処分業
コンクリート二次製品販売	古物商

4）産業廃棄物の施設・資材置場の概要

①収集運搬業

○天栄工業株式会社

取り扱う産業廃棄物の種類	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん、燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類

積替え及び保管

積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類	保管上限	面積	積み上げ高さ
石綿含有産業廃棄物（石膏ボード）	1.5m3	5.01m2	1.16m
石綿含有産業廃棄物（その他）	3.8m3	5.01m2	1.16m
水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）	2.2m3	2.7m2	1.104m

収集運搬車両

ダンプトラック	10t	2台	脱着式コンテナ車	4t	2台
	4t	1台		3t	1台
	2t	1台	クレーン付キャブオーバー	6t	1台
	軽	1台	キャブオーバー	軽	1台

②廃棄物処理施設

○天栄工業株式会社

処理施設	処理能力	取り扱う産業廃棄物の種類
破砕・分級	320t／日（8h）	がれき類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
焼却	163kg/時（8時間/日）	木くず、紙くず、繊維くず

○株式会社　天草・リサイクルセンター

処理施設	処理能力	取り扱う産業廃棄物の種類
選別	72t／日（8h）	廃プラスチック類、がれき類、木くず、ゴムくず、紙くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、廃油
破砕	4.4t～14.1t／日（8h）	廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、紙くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず
圧縮	31.2t～79.2t／日（8h）	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ガラスくず、金属くず

〈一般廃棄物処理施設〉

処理施設	処理能力	取り扱う一般廃棄物の種類
破砕	14.1t／日（8h）	廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず
圧縮	79.2t／日（8h）	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
選別	79.2t／日（8h）	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず

③資材置場

熊本県上天草市松島町今泉4213

5)許可登録

〇天栄工業　株式会社

熊本県産業廃棄物処分業　　第04320018920号(優良)

許可年月日:令和4年11月10日　許可期限年月日:令和11年10月29日

熊本県産業廃棄物収集運搬業　第04300018920号(優良)

許可年月日:令和4年7月7日　許可期限年月日:令和11年6月14日

熊本県再資源化施設　　第1310号

熊本県計量証明事業者　　登録番号140

〇株式会社　天草・リサイクルセンター

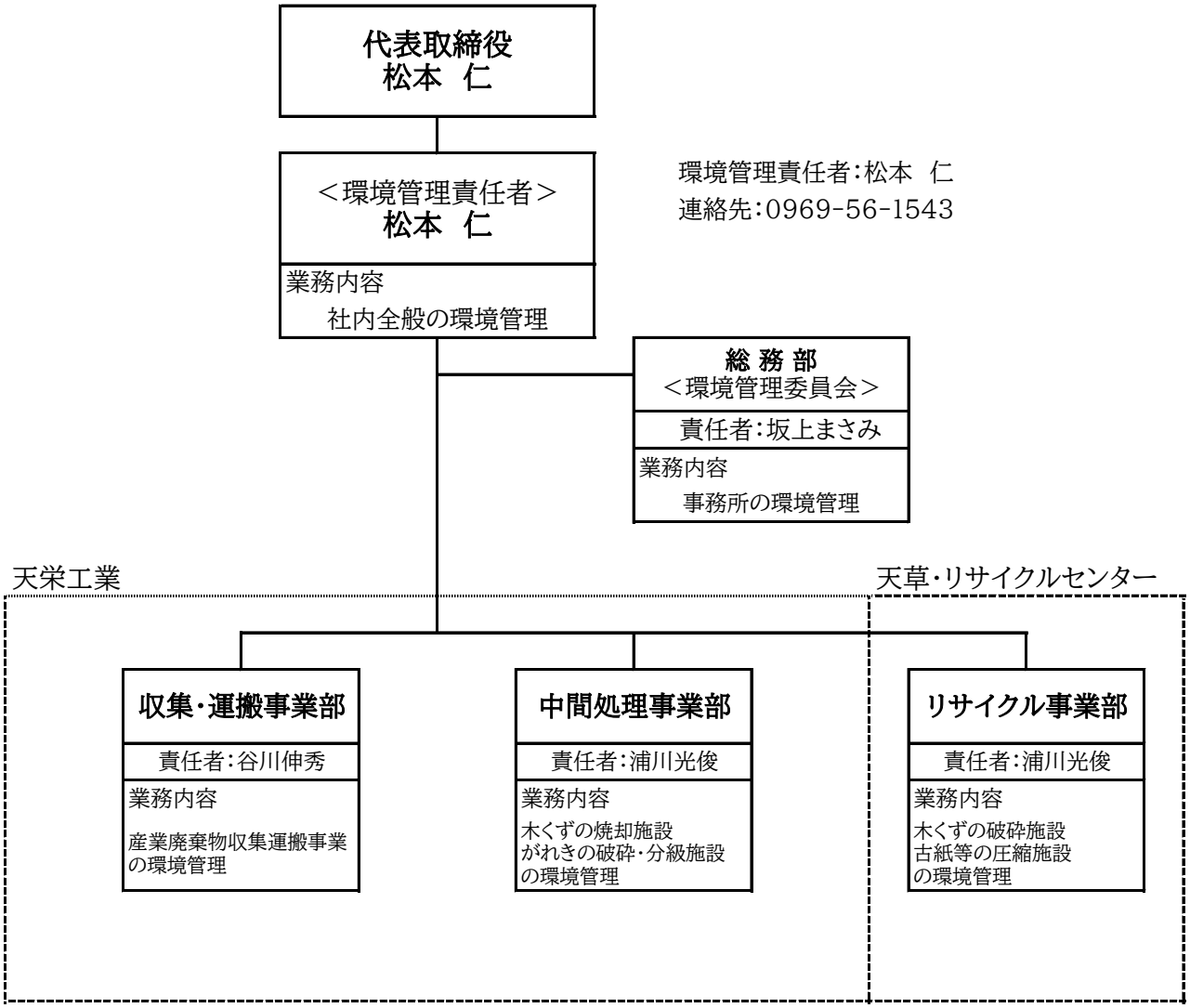
熊本県産業廃棄物処分業　　第04320118447号

許可年月日:令和2年10月7日　許可期限年月日:令和7年7月7日

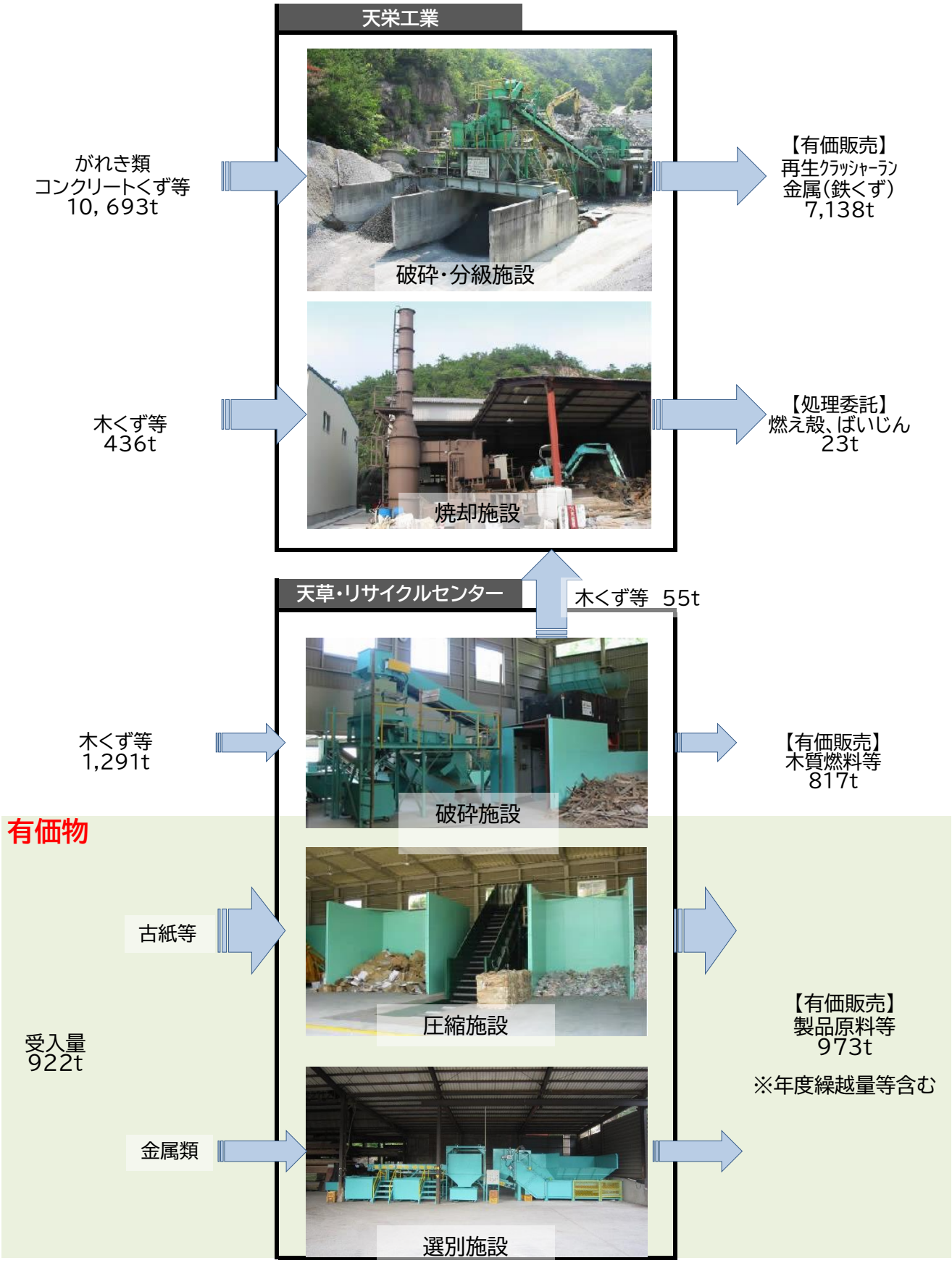
熊本県一般廃棄物処理施設設置許可　　破－第6号、圧－第3号

上天草市一般廃棄物処分業　　上天環第　6　号　許可期限年月日令和7年3月31日

6）組織図


代表取締役
松本　仁
＜環境管理責任者＞
松本　仁
業務内容
社内全般の環境管理
環境管理責任者：松本　仁
連絡先：0969-56-1543
総 務 部
＜環境管理委員会＞
責任者：坂上まさみ
業務内容
事務所の環境管理
天栄工業
天草・リサイクルセンター
収集・運搬事業部
責任者：谷川伸秀
業務内容
産業廃棄物収集運搬事業の環境管理
中間処理事業部
責任者：浦川光俊
業務内容
木くずの焼却施設
がれきの破砕・分級施設
の環境管理
リサイクル事業部
責任者：浦川光俊
業務内容
木くずの破砕施設
古紙等の圧縮施設
の環境管理

7）事業場内の処理工程図



8）処理料金

廃棄物の種類、状態、量、運搬距離等により料金が異なりますのでお問い合わせください。

環　境　目　標

環境目標は下表に示す通りで、建設部門を平成３０年４月に別会社に譲渡後の、中間処理業と収集運搬業のみの実績となった令和元年度実績をもとに設定しました。
二酸化炭素排出量と営業車両のガソリンについては、売上高（千円）あたりで環境目標を設定しています。
中間処理業及び収集運搬業、処理量（ｔ）あたりの環境負荷で環境目標を設定しています。
廃棄物については、中間処理によるリサイクルを行っているため、リサイクル率で環境目標を設定しています。
目標設定については、毎年0.5%削減で暫定的に目標設定を行っています。
今後の動向を見ながら実態に即した目標値に変更していきたいと考えています。

項　　目		単　位	環境目標（令和元年度（2019年度）の環境負荷を基準にして設定）			
			令和元年度（実績）R1.8～R2.7	令和２年度 R2.8～R3.7	令和３年度 R3.8～R4.7	令和４年度 R4.8～R5.7
二酸化炭素排出量		kg-CO2	105,631	105,103	104,577	104,054
		kg-CO2/千円	0.66	0.658	0.654	0.651
中間処理業	電気	kWh	63,342	63,025	62,710	62,397
		kWh/t	6.923	6.888	6.854	6.820
	灯油	L	2,074	2,064	2,053	2,043
		L/t	0.227	0.226	0.225	0.224
	軽油	L	16,704	16,620	16,537	16,455
		L/t	1.826	1.817	1.808	1.799
収集運搬業	軽油	L	9,344	9,297	9,251	9,205
		L/ｔ	2.823	2.809	2.795	2.781
ガソリン（営業車両）		L	4,858	4,834	4,810	4,785
		L/千円	0.030	0.0299	0.0297	0.0296
リサイクル率		%	95.0%	95%以上	95%以上	95%以上

※電気に関する二酸化炭素排出係数は、2018年度九州電力（調整後）0.347kg-CO2/kWhを使用している。
※場内で使用している水は、すべて山水を使用しており、使用量等の把握ができないため、
　有効活用・節水に努め数値目標は設定しない。
※廃棄物リサイクル率の算出方法

$$廃棄物リサイクル率＝\frac{リサイクル製品量}{リサイクル製品量＋処理後の廃棄物量}×100\%$$

取 組 の 実 績 と 評 価

◎環境負荷の実績

取組の実績は、下表の通りです。
二酸化炭素排出量が目標値を大幅に上回った結果となった。廃棄物の取扱量は増加しているが、中間処理業においては電気使用量、燃料使用量、収集運搬においては燃料使用量、営業車両についてもガソリン使用量が前年度より大きく増えている。
中間処理施設の電気使用量及び重機、車両の使用燃料削減にさらに取り組む必要がある。

リサイクル率に関しては96.5%で目標を達成できた。

項　　目			単　位	令和元年度	令和3年度（2021年度）		判定
				基準年	目標	実績	
二酸化炭素排出量			kg-CO2	105,631	104,577	170,939	×
			kg-CO2/千円	0.660	0.654	0.860	
中間処理業	電気		kWh	63,342	62,710	97,700	-
			kWh/t	6.923	6.854	7.181	×
	灯油		L	2,074	2,053	2,541	―
			L/t	0.227	0.225	0.187	○
	軽油		L	16,704	16,537	31,841	―
			L/t	1.826	1.808	2.340	×
収集運搬業	軽油		L	9,344	9,251	13,383	―
			L/t	2.823	2.795	3.275	×
	ガソリン		L	-	-	73.700	-
			L/t	-	-	0.018	-
ガソリン(営業車両)			L	4,858	4,810	5,972	―
			L/千円	0.0300	0.0297	0.030	×
廃棄物等取扱い量	受入量		t	9,098	-	13,552	―
	排出量		t	4,515	-	8,361	
	内再資源化等量		t	4,291	-	8,070	
廃棄物リサイクル率			%	95.0	95.0以上	96.5	○

※電気に関する二酸化炭素排出係数は、2018年度九州電力（調整後）0.347kg-CO2/kWhを使用している。
※場内で使用している水は、すべて山水を使用しており、使用量等の把握が出来ていないため、有効活用し、節水に努める。
※ガスは事務所のみの使用で、必要最小限の使用であるため、実績は把握しているが、評価の対象から外す。
※今年度は収集運搬業でガソリンを使用したが、前年度以前は使用していない為、目標は設定していない。
次年度以降、使用した場合は本年の実績を基準に目標を設定する。
※今年度は、BDFを2,500L使用することで、二酸化炭素排出抑制に貢献できた。

◎環境負荷の評価

ほぼすべてにおいて目標を達成できなかった。電気、化石燃料の使用量削減に対する社員一同が今一度徹底する必要がある。

主要な環境活動計画の内容の取組評価①

令和3年度(2021年度):事務所・営業・車両

	評価		
	事務所	営業	車両
1) 温室効果ガスの排出削減			
・業務連絡を徹底し、帰り荷を使用する等、輸送の効率化を図る。	－	－	○
・エコドライブ診断を受診し、意識の向上に努める。	×	×	×
・車輌及び重機のアイドリングストップを実施する。	△	△	△
・必要のない照明の消灯を徹底する。	○	○	－
・パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にする。	△	△	－
・夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る。	△	△	－
・室内及び車内の温度が夏場:28℃、冬場:20℃となるように、冷暖房の温度管理を徹底する。	○	○	－
・使用していない部屋の空調は停止する。	○	○	－
・ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節する。	○	○	－
・夏場のクールビズ、冬場のウォームビズを導入する。	○	○	－
2) 廃棄物のリサイクル率向上			
・排出事業者に対して選別についての教育を行い、リサイクルできる状態で排出してもらう。	△	△	△
・新しいリサイクルルートを確立する。	△	△	△
・紙、金属缶、プラスチック等について、分別回収ボックスを設置して、ごみの分別を徹底する。	○	○	○
3) 水使用量の削減			
・場内で使用する水は、すべて山水を有効活用する。	○	○	○
4) 紙使用量の削減			
・会議用資料や事務手続き書類を簡素化する。	△	△	－
・両面印刷、集約印刷等の機能を活用した印刷を徹底する。	○	○	－
・印刷ミスを防止するため、印刷前に設定を確認する。	○	○	－
・裏紙を再利用する。	○	○	－
・マニフェストの印刷ミスを減らすため、大量に印刷する場合は、20枚程度で区切って印刷する。	○	－	－
・使用済み封筒を再利用する。	○	○	－
5) グリーン購入			
・コピー用紙は、再生紙を購入する。	○	○	－
・再利用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入する。	○	○	－
6) 取組実施の向上			
・年に一度(12月)、社員全員が出席する環境会議を開催する。	△	△	△
・作業前ミーティングを行い、作業に対する環境対策、安全対策を周知する。	○	○	○
7) 環境に配慮した事業活動			
・場内の整理整頓を積極的に行なう	△	△	△
・月に一度、工場及び周辺の清掃を行なう。	△	△	△

(評価)　○:よく出来た　△:あまり出来なかった　×:出来なかった

※青字は重点的に取り組んだ項目

主要な環境活動計画の内容の取組評価②

令和3年度(2021年度):【工　場・収集運搬】

	評価 工場	評価 収集運搬
1） 温室効果ガスの排出削減		
・デマンド管理システムを導入し、工場の電力使用量の削減を図る。	○	－
・焼却量を削減し、焼却による温室効果ガスの発生を削減する。	○	－
・破砕機の運転は、負荷のかからないように投入量に注意する。	○	－
・長時間の破砕機・圧縮機の空回しをしない。	○	－
・焼却施設の温度管理を徹底し、効率良く運転する。	○	－
・業務連絡を徹底し、帰り荷を使用する等、輸送の効率化を図る。	○	○
・車輌及び重機のアイドリングストップを実施する。	○	○
・排出事業場や処理施設の位置を勘案し、適切な収集運搬計画を立てる。	○	○
・運搬経路を選択する際に、渋滞等の道路条件を考慮する。	○	○
・積載量を厳守する。	○	○
・室内及び車内の温度が適切なとなるように、冷暖房の温度管理を徹底する。	○	○
・必要のない照明の消灯を徹底する。	○	－
2） 廃棄物のリサイクル率向上		
・選別の徹底によりリサイクル率を向上する。(特に焼却処理している木くず)	○	－
・排出事業者に対して選別についての教育を行い、リサイクルできる状態で排出してもらう。	△	－
・焼却灰は、リサイクル業者に委託しリサイクルする。	○	－
・新しいリサイクルルートを確立する。	△	－
3） 水使用量の削減		
・場内で使用する水は、すべて山水を有効活用する。	○	－
4） 化学物質使用量の抑制及び管理		
・有害性の化学物質(焼却施設からのダイオキシン類等)の排出量の計測を行う。	○	○
・計量証明書・SDS等を使用して、処理委託先に化学物質の安全性に関する情報を伝達する。	○	○
5） 環境に配慮した事業活動		
・低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置等により、騒音・振動を防止する。	○	○
・場内の整理整頓を積極的に行なう	△	△
・月に一度、工場及び周辺の清掃を行なう。	○	○

（評価）　○:よく出来た　△:あまり出来なかった　×:出来なかった

※青字は重点的に取り組んだ項目

環 境 関 連 法 規

確認日	作成	承認
令和3年7月31日	千原	松本

環境関連法規への遵守状況及び訴訟などの結果は、下表の通りです。

内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
法律違反の有無	無	無	無	無	無
訴訟の有無	無	無	無	無	無
環境に関する苦情の有無	無	無	無	無	無

会社	No.	環境関連法令	チェック項目	チェック結果
天栄工業	1	廃棄物処理法、 熊本県産業廃棄物指導要綱	産業廃棄物処理に係る再生品等の出荷状況報告書	○
			産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○
			産業廃棄物処理実績報告書提出	○
			許可期限の確認	○
			維持管理基準等の順守（日常管理で確認）	○
	2	大気汚染防止法	ばい煙測定	○
	3	ダイオキシン類対策特別措置法	ダイオキシン類測定結果報告書	○
	4	騒音規制法、振動規制法	（日常管理で確認）	○
	5	建設リサイクル法	（日常管理で確認）	○
	6	消防法	消火設備の定期点検	○
			保管上限の順守	○
	7	熊本県生活環境の保全等に関する条例	各種基準の順守	○
	8	浄化槽法	定期点検	○
	9	フロン排出抑制法	定期点検	○
天草リサイクルセンター	1	廃棄物処理法、 熊本県産業廃棄物指導要綱	産業廃棄物処理に係る再生品等の出荷状況報告書	○
			産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○
			産業廃棄物処理実績報告書提出	○
			許可期限の確認	○
	2	騒音規制法	（日常管理で確認）	○
	3	消防法	消火設備の定期点検	○
			保管上限の順守	○
	4	熊本県生活環境の保全等に関する条例	各種基準の順守	○

次年度の主な環境活動計画

環境方針	主な取り組み		SDGsの取組み
環境目標を設定し、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。	事務所	年に一度（12月）、社員全員が出席する環境会議を開催する。	8 9 17
	収集運搬工場・	作業前ミーティングを行い、作業に対する環境対策、安全対策を周知する	
事業活動に関わる環境側面を常に認識し、温室効果ガスの削減などの環境保全活動を行います。	事務所	パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にする。	2 7 12 13 15
		夜間、休日は、パソコン、プリンター当の主電源を切る。	
	収集運搬工場・	車輌及び重機のアイドリングストップを実施する。	
		破砕機の運転は、負荷がかからないように投入量に注意する。	
		焼却施設の温度管理を徹底し、効率よく運転する。	
		積載量を遵守する。	
廃棄物の発生の抑制と廃棄物の資源化を目指して、リサイクル事業に従事します。	事務所	紙、金属缶、プラスチック等について、分別回収ボックスを設置して、ごみの分別を徹底する。	4 9 12 15
		両面印刷、集約印刷等の機能を活用した印刷を徹底する。	
		裏紙・使用済み封筒等を再利用する。	
	収集運搬工場・	選別の徹底により、リサイクル率を向上する。（特に焼却処理している木くず）	
		焼却灰は、リサイクル業者に委託しリサイクルする。	
事業活動にかかわる法規制及びその他協定等については、これを遵守します。	収集運搬工場・	有害性の化学物質（焼却施設からのダイオキシン類等）の排出量の計測を行う。	6 11 16
		計量証明書・SDS等を使用して、処理委託先に化学物質の安全性に関する情報を伝達する。	
		低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置等により、騒音・振動を防止する。	
教育活動を通じて、この環境方針を全社員に周知徹底するとともに、一般の人にも公開します。	収集運搬工場・	排出事業者に対して選別についての教育を行い、リサイクルできる状態で排出してもらう。	4 5
	全体	加入団体等とともに、積極的に地域貢献活動に参加する。	8 9
水資源は山水を使用しており、水質を悪化しないよう留意します。	全体	場内で使用する水は、すべて山水を有効活用する。	2 6
グリーン購入を推進します。	事務所	コピー用紙は再生しを購入する。	9 12
		再利用又は、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。	13 15

代表者による全体の評価と見直し

1)代表者による全体の評価結果

①二酸化炭素排出量が電気使用量、燃料使用量の大幅な増加によって目標を達成できなかったが、リサイクル率は96.5%と前年度に引き続き目標を達成できた。選別の徹底など従業員の取り組みが継続できている。

② 環境活動計画は、おおむね達成できている。

③ 環境関連法規等や外部からの環境に関する苦情や要望等については、特に問題はない。

④ 中間処理施設においては、重機の稼働時間に対する使用燃料の削減できるよう、アイドリングストップの徹底等に取り組むよう社員に周知徹底を行う。

⑤ 収集運搬業においては、運搬の効率化を図り、運転手にエコドライブに心がけるよう周知徹底を行う。

2)代表者による全体の見直し結果

① 環境方針、環境活動計画及び環境経営システムについては、大きな見直しは必要ない。

② 今年度大幅に目標値を上回る結果となり次年度の結果を踏まえ目標値の修正を行うか協議する。

令和5年1月31日
天栄工業株式会社
代表取締役　松本　仁

地域貢献活動

・2022年4月14日　熊本県産業資源循環協会天草支部主催の献血運動に5名が参加した。

・2022年4月18日　熊本県産業資源循環協会が実施した「熊本おもてなしクリーン作戦」に2名が参加した。

熊本おもてなしクリーン作戦の様子

収集運搬作業における新型コロナウイルス感染対策

作業中に心がけること

その1：素手でごみに触れない！手袋の脱着時に素手で手袋の外面や顔に触れないよう注意しよう！

その2：作業の合間に、機会を見つけて消毒に心がけましょう！

その3：作業車の窓を開放し、換気を心がけましょう！複数人数乗る場合は、必ずマスクを着用しましょう！

その4：3密の回避！　屋内・社内の場合は、窓を開け、近距離での会話等は、控えましょう！